広報長洲

発行者　長洲中央公民館
発行人　長嶺朝良
編集人　浦塘千秋
印刷所　浦野一男　玉名新聞社

昭和三十七年度予算決る
一億二百五十九万円

昭和三十七年第四回定例町議会は三月十二日招集され、中央公民館に於いて、昭和三十七年度予算案を始め議案件数十六件を三月二十二日迄の期間中慎重審議の上可決決定し散会した。

町当局の予算大綱説明書によれば、「本年度予算編成に当つては、健全財政を基調とし町民の福利増進を目途とした事は勿論であるが、特に有明海臨海工場地帯造成実現の年に当るので有明製鉄及び関連産業の誘致に努力したい。

本年度計画した事業の大要は

1、腹栄中学校特別教室の増築
2、教具教材の整備充実
3、町内線県道の改良事業
4、町道の改良事業及び既設町道の維持修理
5、側溝及び排水溝の整備改良
6、菜切、浦川及び行末川の改修工事
7、海岸堤防の保全事業
8、土地改良事業（岩原及び二の割地区）
9、病虫害の一斉防除（航空及び地上）
10、保育所の移転とその増改築事業

右の外前年度計画された役場庁舎の増改築の残り半分を引続き施工することにした。—中略—消費的経費を極力節減し、従来の因習、慣例、情実を一掃し経費の生産的効果の昂揚に努め以つて予算の効率を高めその執行の万全を期する所存である—以下略—）

主な議件

1、昭和三十七年度長洲町歳入歳出当初予算について（一般会計）
2、昭和三十七年度国保事業勘定歳入歳出当初予算について
3、昭和三十七年度国保施設勘定歳入歳出当初予算について
4、昭和三十七年度上水道特別会計歳入歳出当初予算について
5、昭和三十七年ブルドーザー特別会計歳入歳出当初予算について
6、昭和三十七年度公益質屋特別会計歳入歳出当初予算について
7、長洲町税条例の一部改正について
8、長洲町国民健康保険税の一部改正について
9、長洲町営住宅使用料条例の一部改正について
10、腹栄中学校の増築について
11、長洲町公益質屋条例の廃止について
12、長洲町職員の定数に関する条例の一部改正について
13、助役選任について
14、役場の増改築について
15、長洲町議会常任委員会及特別委員会条例一部改正について
16、町道向野高田線改良工事請負契約の締結について
17、外請願書報告

収入役に就任して

収入役　福田康止

昨秋新しく発足した古閑町政の新しい収入役として、三月二十二日就任することになりました。もとより浅学菲才で、その器ではないと思いますが、町民の皆様方の御支援と御協力を得まして、この重責を果すことができますよう誠心誠意努力するつもりでございますので、どうぞよろしくお願い致します。

長洲町は有明製鉄の誘致をめぐり、新しい都市計画の下に歩一歩、その歩みを進めています。

私達は町民全体が一丸となって、大局的見地から工業都市長洲の建設の為に努力しなければいけないと思います。

長洲町の昭和三十七年度予算は一億二百五十九万六千八百円になりました。この大きな町財政の切盛りをこれから任期中担当することは誠に責任重大だと存じております。私は新鮮な気持で、明朗な町政に寄与し、清潔な町財政の運営に身を捧げるつもりでおります。

何卒、よろしくお指導の程お願い致します。

漁業補償と漁民の声

松高幸人(38)

現在私達の郷土に最も大きな話題を呼んでいるのは有明臨海工業地帯設立の問題のようである、隣接市町村あげての誘致運動もさることながら営利を目的とするものであれば、立地条件に優る地区に利のあることの当面の問題として、工場用地の造成が急務のようでありそれに伴う漁業補償の問題が大きく取り沙汰されている。

郷土の一員として郷土発展に寄興することは当然なこと、ただ一部の人達に犠牲を強いることは好ましくないことだと思う。

適正なる補償要項には現在の生活水準、将来の見通しを基盤として、海面漁業養殖漁業えの影響、收獲の比重、漁業の推移、技術の進歩による生産向上等考慮がなくてはならない。

この点関係当局も実情を再認識することが解決えの一つの方法ではあるまいか又、漁民としては、将来の生活設計を再検討すべきであり、県町当局初め地元の人達の友情の手をさしのべられることを期待するものであります。

町民の声

昭和36年度歳末助合い結果をお知らせ

一、現金四四、三五五円　婦人会
一、白米二五、一斗　婦人会
一、菓子一三〇袋　米村菓子店
一、毛布　五〇枚　辰己居

現金の内訳

婦人会　三五、三九八円
在京長洲会　三、〇〇〇円
長洲町菓子組合一、〇〇〇円
折地老人会　七〇〇円
腹栄中学校　七三六円
長洲町職員　三、五二一円

配分は配分委員会の意見を聞き左記世帯に配分いたしました。

一、被保護世帯　一一二世帯　三六六人
一、要保護世帯　六〇世帯二四八人

（長洲町役場厚生課）

子供会便り

◎バドミントン講習会

去る三月四日、清里保育園において熊本女子大教授の伊藤基記先生を講師として招き、バドミントン講習会を開催した。

その日の参加者は第一、第二青年団、各町内子供会世話人、各小中学校生、四地区婦人会と広範囲にわたり参加して下さいましたことは、今後大いに本町スポーツ振興のためにその技量を発揮されることと思います。

又、先生はバトミントンを日本に普及された人だけにそのプレーは見るべきものが大いにあつた。

◎バドミントン大会

長洲町中央公民館、各地区子供会、各小中学校共催のもとに三月二十五日長洲、清里地区子供会、腹赤地区子供会、三月三十一日は六栄地区子供会と町子供会が一斉にバドミシトン大会を開催した。

二十五日は午前中は風も強く時折小雨を見、バドミントンにとつては最悪のコンデイションにもかゝわらず子供たちは熱心にプレーをし、ややもすれは自分の打つた球が自分のコートに流されてきたりしたがそれでも屈せずに最後までよく戦かつたその精神こそ、この大会の大きな收穫だつたゝ思う。

○尚各地区団体の成績は次の通り

長洲、清里地区
一位　中今町子供会
〃
二位　建浜町子供会
三位　新町子供会
腹赤地区
一位　東荒神町子供会
二位　清源寺北子供会
三位　清源寺南子供会
六栄地区
一位　平原町子供会
一位　葛輪町子供会
一位　永方町子供会
一位　立野町子供会

（バドミントン大会風景）

愛育班の利用について

昭和三十四年旧長洲地区にも愛育班が結成されましたが御存知ない方が多いようですから簡単に内容お知らせ致します。

一、愛育班の目的
母子衛生を強力に推進し町民の保健向上を図り明るくて住みよい長洲町をつくりあげること

二、愛育班の事業
1、母子衛生の智識の向上を図るため各種講習会の開催
2、妊産婦乳幼児の訪問調査
3、出産育児栄養等に関する指導協力
4、健康相談検診その他愛育町としての一切の連絡
5、衛生器具の利用供給の斡旋
6、その他愛育町事業の遂行上必要と認める事業

三、役員
各町内に分班長さんがおられます　妊婦検診その他母子衛生については分班長さんに連絡をお願いすることが多いので通知もれにならぬよう平素から分班長さんとの連絡を密にしておいて下さい

新刊書紹介

川上幸男著　日曜園芸
加東大介著　南の島に雪が降る
近藤　健著　はだかつ子
伊藤芳子著　春夏料理
生活科学調査会編　婦人指導者
松本清張著　砂の器
芥川也寸志著　私の音楽談義
大田　堯編　農村のサークル活動
源氏鶏太著　明日は日曜日
丹羽文雄著　有情
マルタン・デュ・ガール著
山内義雄訳　チボーの家の人々
西日本新聞社編　十代
武者小路実篤著　仲よく生長
吉阪隆正著　原始境から文明境

国民年金の御知らせ

国民年金の納入が始まつてもう一年になりますが加入者も皆さんはとどこおりなく保険料を納めておられますか。

この国民年金制度は印刷物で御知らせいたしましたとおり皆さんのご要望をとりいれてだんだん改善されております。

御承知のことゝ思いますが左記のことを特に御注意いたします

一、加入届を出さなかつたり加入しても保険料を納めないと不幸なことがあつた場合たとえば身体障害者になつたり、母子世帯になつたとき年金がもらえないことです。

二、家計が苦しくて納められないときは必らず免除の手続をしてその制度からとりのこされないようにいたしましょう。

三、保険料は昨年四月から本年三月分までの一年分を一ぺんに四月末日までに印紙で納めることもできますが五月一日以後になると印紙でおさめることができなくなり、県国民年金課発行の納入告知書によつて現金で納めなければならないことです。

四、国民年金の被保険者が転入転出した場合は新市町村役場に必らず届け出ること。

五、国民年金の被保険者が会社等に就職し他の年金制度に加入したとき又は他の年金制度の被保険者でなくなり国民年金に加入しなければならない人及び結婚して希望加入者になつたときは必らず役場に届出て下さい。

（厚生課）

大人の意見　子供の意見

（一）

長洲町には子供会活動が各地で活潑に行なわれています。大人と子供の共通の広場を作るために、本紙では三月号から、この欄を設け、子供会活動の一助にしたいと思います。先づ、第一に次の二人の意見を掲載することにしました。

子供から大人へ
錢湯でタオルをつけないで

大人の人に対しては、子供として沢山の意見を持つています今日は、その一つとして、次の意見を出します。

大人の人は錢湯で、「湯つぼにタオルをつけてはいけない。湯つぼで頭を洗つてはいけない」となつていますのに、それを守つておりません。私たちが、「タオルはつくつとでけんとて」と言いますと、大人の人は直ぐ、「子供のくせに何ばいいよるか」と言つて私たちに怒ります。でも、たまには、「あゝ、そうかい。ほんならでけんね」と言つて直ぐ止めてくれる人もいます。でも、大部分の人が守つていません。大人は子供の手本とならねばならないのに、こんなことでは恥かしいことです。こんな点を直して下さい。

（長洲中二年　北原浩二）

大人から子供へ
自分の行動に責任を

大人は湯錢で規則を守らない常に自分よりも良き人間になつてこれでは出来ない、子供の手本守りつつ前進していくが、子供になつて欲しいと云う意見です達も子供会等で自から規則を作が、実は大人として、本当の事り乍ら龍頭蛇尾に終つて居るようだけに痛い所ですね。

大人の立場より子供を見ますうです。大きな事を不完全の中と、子供の成長の過程として、に終るより、小さな事手近かな完成に向かつて自から多くの試事を一つ〳〵守つて行つて欲し煉を通らねばならぬ、世の親はいと思います。

先日或るお母さんより聞いたのですが「ゴム銃を注意したら自分の子供が憎み出された、やたら今時キヤ云われませんな」と云われるのです。

このような事は時々聞く事で大人は或る事実を摑んでも自分の子供の事を考えて強く責任を追求せずにいるようです。

勿論脱線する子供は一部分の者ですがこれが強く表面に出て来る。

大体現代の子供は、自分の物は大事にしますが、公共物に対してはその責任は半減するようです。自己の権利を主張すると共に行動に対しても責任をもつて欲しい。

勿論親達は現代の思想、学校教育に対しては、それなりに一生懸命勉強して子供に近ずく事を考えているのです。

（長洲地区子供会連絡協議会長）

福田覚了

長洲町クイズ
御存じですか？

夕食後のひとときをクイズで楽しんでみましょう

一、長洲町の新山から沖洲の東端までの直線距離は何キロかは

二、長洲町で最年長の人はどこの誰でしょう、その人の年令は

三、長洲町で町民税の最高額はどの位でしょう、又最低は、平均は

クラブ紹介（一）
あやめ会を訪ねて

長洲町には各地に、町民に未だ余り知られていない、クラブ活動をしている各種の団体がある。私たちは、その団体について紹介することにした。

先づ、第一に私たちは清里地区の「あやめ会」を訪ねた。

「あやめ会」の概要を紹介すると、

一、名称　あやめ会
二、発会期日　昭和三十五年五月
三、会の目的、農村のお姑さんたちの集会の場を作り、会員相互の親睦と修養をはかるのを目的とする。
四、会員　百六名（梅田、建浜地区のお姑さんたち。
五、役員　責任者　池田三次
　世話人代表　田成シマ（六十）他五名
六、行事　毎月一回十一日例会講話、映画、養老院慰問、演芸会
七、その他　婦人会との関係深かく、当初婦人会の発案でできたという。

私たちがこの会を訪ねた時はちようど例会の当日であつた。五十才、六十才のお姑さんたちが五、六十人余建浜公民館に集まつて、おいしい折詰の昼餉をすましたところであつた。池田地区館長や田成さんたちから「どうぞ、どうぞ」と中に招かれて、会員に紹介された。みんなの顔が窓外の桜の花のように明るく見えたのは、こちらの気のせいばかりではないであろう。次に、六栄の光正寺の法康之住職のお話があつた。私は控室からお姑さんたちが熱心に話を聞き、時には、「ふん、ふんそうでござるます。」と一人で合づちをうちながら聞いてい有様は本当に胸を打たれた。扉を開放たれた入口の土間にはたくさんの子供たちが集まつていた破れた窓から覗いては叱られて頭を引込める悪童連もいる。法話が終ると一座の空気はパッとなごやかになり、七、八人のお姑さんたちが立上つて、円を作りながら炭抗節の踊りが始まつた。声を張上げ、手拍子を取りながら、歌い、そして踊る姿はほんとうに楽しそうだ。人間は働くばかりが能ではない、時々はこんなに破目を外して楽しんでこそ明日への力が湧いてくるのだ。私は、このお姑さんたちの集いが、いつまでもなごやかに続くよう心に祈りながら帰路についた。肌寒い晩春の空気が心持ち紅潮した顔をそつといやしてくれた。（林田）

楽しそうに踊る「あやめ会」のお姑さんたち

郷土の遺跡を訪ねて（一）

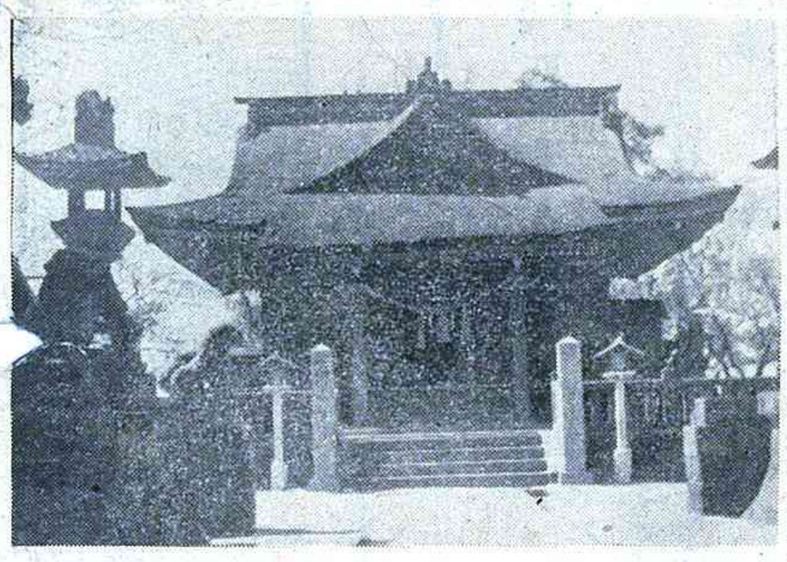
国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙をそそぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火三月に連なり
家書万金にあたる
白頭掻けば更に短かく
すべて簪にたえざらんと欲す

これは、唐の杜甫の五言律詩「春望」の最初の一句である。

悠久の自然は変りなく四季の営みを続けているけれども、人の世の盛衰は激しく、貴重な郷土の遺跡は、ともすれば顧りみる人もなく朽ちはてようとしている。私はこの有名無名の郷土の遺跡を訪ねて、皆さんと一緒にその昔の面影を偲んでみたいと思う。

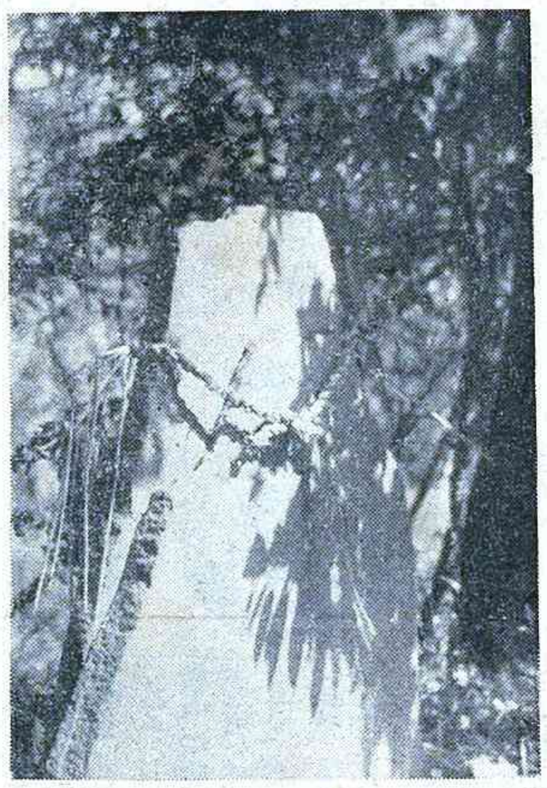
1、景行天皇の行在所

私たちは先づ景行天皇の行在所といわれる深田浦の古宮の地を訪ねることにした。その日はうららかな春の日で新塘の右には雲仙岳がかすみ、左には緑の麦畑と黄色の花菜畑の模様が美しく、碧い空には揚雲雀がのどかに上つていた。



（名　石　宮）

腹赤の深田浦の古宮の地は、日本書記によると景行天皇十八年六月三日熊襲征代の帰途御船を長渚浜の行在所に御駐輦遊ばされた跡だと伝えられている。長渚浜とは腹赤の浜のことである。肥後風土記によると棹人吉備国朝勝〃が釣を垂れて得しところの魚を天皇に奉りました。天皇は勅して魚の名を問わせられましたが、誰もその名を知れる者がなかつたと申します。けれども、その時献上した魚の腹が赤かつたので、之に因んで村名を腹赤と呼ぶようになつたとの事である。名石宮はもとこの古宮にあつたのが、三百年前現在地の沖洲の名石宮に移転したといわれている。そして、十年に一度御神興が旧社にお帰えりになられるとのことである。

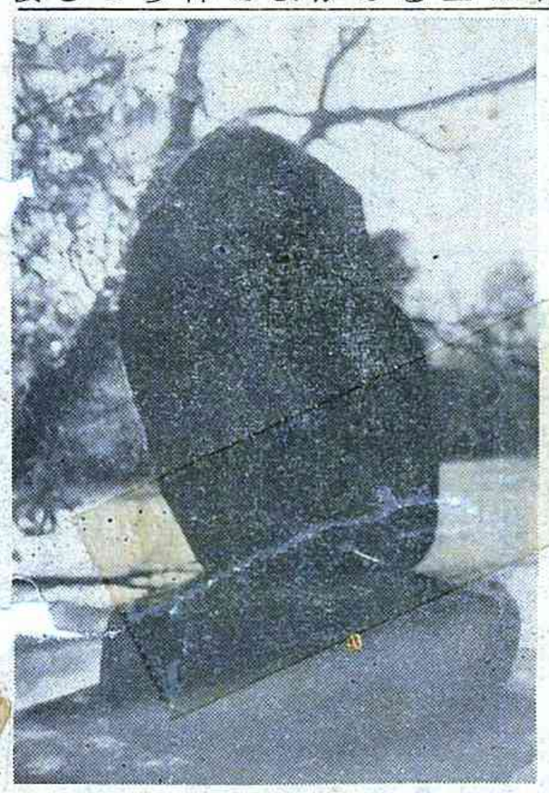


（御腰掛石）

2、御腰掛石

腹赤の古床屋敷の畑中に景行天皇御腰掛の石といわれるものがあつた。その昔景行天皇西国御巡狩の時、御腰を掛けられたといわれている高さ五尺、幅三尺、厚三寸斗の扁平な石である。

石面に蓮台上の仏様の立像のようなものが刻んであるのがかすかに見える。玉名郡村誌によれば、玉体縁記が石面に刻んであつたとあるので、その昔、神仏混淆の時代の名残りであらう。前に祭壇らしき物が今も残つており、燈籠はこわれて苔むし御腰掛石の前方一米の所に積み重ねたままになつているのも哀れな光景である。



3、供御の池

御腰掛石の附近に、俗に「コゴン池」と呼ばれる出泉地がある。天皇に差上げる食膳の品をお洗いした池といわれている。後世腹赤のにえを洗つた池も又「供御の池」と呼んでいる。

今は見る影もなく荒れ果てた周囲二百米余のこの池は、一面に枯れ果てた浮草が無残な姿を春の陽光に曝らしていた。池の側に記念碑あり、その碑文に、「景行天皇還御の途次、曹前の国より再び腹赤の魚を奉献すべしとの御沙汰ありたり、然るに遠路奉献覚束なくとて清水湧き出で、氷の如き此の池に浸して直ちに奉献しけるに、尚生魚の如く鮮なりしかば、天皇大いに嘉賞あらせられ、是よりこの池を供御の池と呼び里人霊地として尊崇す」と刻んである。案内してくれた古老の話によれば、供御の池はこの碑の側に円く水中に石垣で区切られた池の一部のことだそうである。昭和の初期の頃まで、ここには美しい清水が湧いていたとのことである

私たちは雨上りの赤い椿の散り染めた春泥の切道しを出ると晴しの良い一本木の碑の見える下りの坂道に出た。午後五時を少し過ぎた頃であつた。その碑文には「景行天皇御上陸地」と書いてあつた。

（供御の池）

切道し出ずれは花の碑石あり（この記事の取材に当り、名石宮の古庄宮司をはじめ、林田賢氏、池本元徳氏、池本清氏、池本利作氏、池本氏の協力に感謝致します。）（林田）

新町子供会

新町子供会が三十六年度公民館より委託研究子供会として指定をうけて早や一年はすぎだ。

新町子供会一年間の歩みをふりかえつて見よう。

四月に三十六年度の努力目標をかゝげ運営にあたつた。

一、三十六年度指導目標
1、みんながよく話し合い決まつた事は責任をもつて実行の出来る人になるよう指導する
2、豊かな人間性をつくる（いたわりあい、はげまし合い、助け合いの心をつくる）
3、人や町のためになる事は進んでやる人に育てる
4、家庭学習の徹底

と四つの目標を立てゝ行事と取りくんでいつた

二、「環境は人を作る」と言われる如く、まず子供たちによる社会環境をあたえることに力をいれた、そのためには、まづ母親学級を開設し明るい家庭環境を作ることにした、一回二回と回をかさねるにつれて良い成果を見た。

三、子供会園、植樹、花壇作り

子供自身で育てた花、花壇の草とり水かけと各自が責任をもつて作り上げた花、子供たちには美くしく、尊いものとして生れたその花は町角に花瓶を作つて町をかざつたり家にもつてかえつて机上をかざつたりしていつしか机あたりが整然と整理され、なんとなく家庭の中が明るくなつた。

四、親と子の話合いの場を作つた（親子会）

親は子供の気持をよく知り子は親とよく話し合いをして自分の行動をよくたしかめ夏休みの生活についてよく話し合いで計画した。

五、成人学級

子供は学校まかせではいけない、家庭でも、もう少しは関心をもたねばならない、先生と一体となつて子供の幸福のために家庭学習に力を入れるようにと頑張つていつた。

だがまだまだ多くの問題点がのこつている。（黒崎種義）

図書紹介
民俗故事物語
池田弥三郎著

書物の書きだしというものは印象の深いものだ。

春は曙。ようよう白くなりゆく山際少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

いうまでもなく、「枕草子」の書きだしである。これに続いて、

夏は夜。秋は夕暮。冬はつとめて（早朝）

と、それぞれ季節の情趣を述べている。

書きだしといえば、「天地のはじめの時」は、古事記の書きだしであり。伊勢物語の各段初めの「昔、男ありけり」や、今昔物語の「今は昔」もよく知られている。

又、兼好法師の徒然草が、「つれづれなるままに、ひぐらし硯に向いて……」も有名なものである。

方丈記の「行く川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」や、平家物語の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」は、又、人々の知りつくしているところである。

本の書きだしのみでなく、歌集の巻頭の歌なども、人に親しまれているのが多い。

万葉集の巻一の巻頭は雄略天皇の「こもよ、みこもち……」の歌であるが、これが求婚の歌であり、しかもいろこのみの代表者である雄略天皇の歌であることは、偶然とは考えられないつまり求婚の歌の代表としてあるものという伝承を持つた歌が巻頭に据えられたのである。

古今集の巻頭の

年のうち春は来にけり。ひとせを　去年とや言わむ　ことしとや言わむ

も、今日から見れば決していい歌とは言えないけれども、こういう暦日と自然との矛盾に興味を感じ、それをこどもつぽく疑つてみせることをもつて文学だと考えた「古今」の選者たちが、自らの態度をこの歌を巻頭にすえることによつて表明したものである。

以上書いてきた通り、本の書きだしというものは興味深かく印象に残るものだ。このような面白い記事をこの本にはたくさん載せてあり、本当に読んで楽しいものだ。

五月は青葉若葉の候、夕暮れには遠蛙の鳴声も聞えてくる。風かほる窓辺で、是非読書の一刻を過していただきたい。（林田）

▼原稿募集▲

「郷土の遺跡を訪ねて」「クラブ紹介」「町民の声」「大人の意見、子供の意見」等新しい企画の資料や意見をどしどし中央公民館までお知らせ下さい。

町民の皆さんの御投稿をお待ちしています。

公益質屋の廃止について

町民の皆様に長年御利用して戴き町民の金融機関として幾らかなりと貢献して来ました公益質屋も一昨年頃より利用者が少くなり従つて毎年十数万円の欠損が出る様になりましたので三月の定例市議会において七月一日より廃止する事に議決致しました。現在入質されておられる方々には大変御迷惑と思いますがお早く質受けされます様にお願ひします。（厚生保険課）

長洲クイズ解答

1、五五〇〇米
2、腹赤　西林キマ（99）
3、最高（月）　一四、七五三円
　最低（月）　二〇〇円

『小波』

初めて広報なるものの編輯にタッチして、今更その困難さにおどろいている。前任者の名編輯人中逸光氏に頭が下がる思いである。春宵の散策に書いやす暇もなく、原稿用紙とにらめつこでつぶす味気なさには嫌気がさした。

それにつけても、「郷土の遺跡巡り」で名カメラマン浦野兄と遺跡の宝庫腹赤を訪ねたのは楽しい思い出だつた。さて、どんな広報が出来上つていることやら汗顔の至りである。期限に追われて思うように校正する余裕もなかつたので誤字や仮名使いの誤りもあるかもしれない。何とぞお許しいただきたい。

遅咲きの桜の花も殆んど散つて、美しい新緑の五月になろうとしている。そして又、衣替えの季節でもある。

一年生の子等帰えり来る若葉蔭　（林田）